

天候に勝る努力！ 土づくりを応援します

11月号

# 昭和肥料ニュース

FAX版



Vol. 004

落葉の季節となり、農作物の栽培は春までお休みというところも有るかと思います。

実は、気温が低下するこの時期は土づくりを始めるにはうってつけな事をご存知ですか？作物が休眠している間でも、土壌微生物は仕事をしています。

（※弊社関連の日本農芸の製品、HSCやトリコンの有用菌も土作りに最適！よろしくお願いします）

先日、農水省が環境に配慮した生産活動を助成する「環境保全型農業直接支払交付金」の新たな運用方針を発表しました。

詳しくは農水省HPを参照ですが、その中で全国共通対象事業に加えられた「秋耕」「長期中干し」に注目です。（別紙にて概要情報あり）

## スタッフ通信

弊社スタッフの近況やつぶやきをご紹介します♪

生産部 畠山さん に聞いてみました！  
趣味はマラソン、トライアスロンの弊社イチのアスリートなナイスガイです。  
この秋は富山マラソンにて3時間7分（ちょい不満）、能登島トライアスロン・エイジ部門3位、珠洲トライアスロン・エイジ部門優勝！小松鉄人レース・エイジ部門優勝！さわやかな笑顔でさらりと答えてくれました。

農水省へ問い合わせしてみたところ「秋耕」と「長期中干し」により温暖化ガス（メタン等）の発生抑制に繋がるとのことでした。

これらのガスは環境だけでなく作物も痛めますので、やはり秋の土づくりは大切です！

（※ガスわきでお困りならひかりゴールドFが有効です！）

長期中干しは深い根が張れる環境が無いと実施出来ません。土づくり（作土深確保、鉄・ケイ酸補給）が前提となる農業技術です。

畦草除草と絡めての補助金が出る地方もあるらしいですが、そちらはどうでしょうか？

一度地元の役場や農政局等に確認してみてください。

意外に知らない補助金や交付金があり、商売のきっかけになるかもしれませんよ。



「土づくり」にお役立てください



お問い合わせは  
昭和肥料まで FAX

0766-68-1227

# 環境保全型農業直接支払交付金について

以下の概要は農林水産省の担当者からの聞き取りです

本制度は令和2年からの実施を見込み、現在で調整中、予算要求が通るかは来年年始以降の決定を待っている段階であることを前提に以下をお伝えします。

## 秋耕について

対象作物: 水稻

実施期間: 収穫直後から秋(8月中旬～10月下旬)

実施内容: 5cm程度の耕耘を行うこと

実施の確認方法: 生産記録にて確認

(市町村によっては担当者立会い、写真確認必要)

交付金額: 800円/10a

## 長期中干しについて

対象作物: 水稻

実施期間: 中干し適期(6月中頃より)

実施内容: 10a当り1本以上の溝切りをおこない

14日以上の中干し期間を設けること

実施の確認方法: 生産記録にて確認

(市町村によっては担当者立会い、写真確認必要)

交付金額: 800円/10a

## 申請条件等

①2名以上の団体での生産団体(各市町村へ申請必要)

個人であれば13ha以上の耕作面積を有する者。

②各県が定める慣行農法との比較で化学肥料、農薬の使用量を5割以上削減していること。

詳細な手続きなどは実施する圃場のある各市町村の窓口にて確認して欲しいとのことでした。